

4. 3. 401号 上坂部西公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和47年3月24日	公園種別	地区
	最終	昭和57年9月24日	計画面積	最終
位置	尼崎市東塚口町1丁目他			
用途地域	第一種住居			
上位計画における位置付け	土地収用整理による取得の有無			
	有【緑の基本計画(沿線の緑、防災の拠点)、地域防災計画(大火災害対策場所)】			
	無			



供用状況

供用年月日	昭和61年3月31日	供用状況	一部未供用
供用面積	2.7ha	標準面積との比較	標準面積未満
未供用面積	0.6ha	供用率	81.8%
未供用面積の内訳	公園用地	公有地	民有地
	0.32ha	0.20ha	0.08ha

概算事業費

合計	201,600千円
概算事業費	内訳
用地買収費	183,200千円、工事費18,400千円
民有地の土地利用	畑

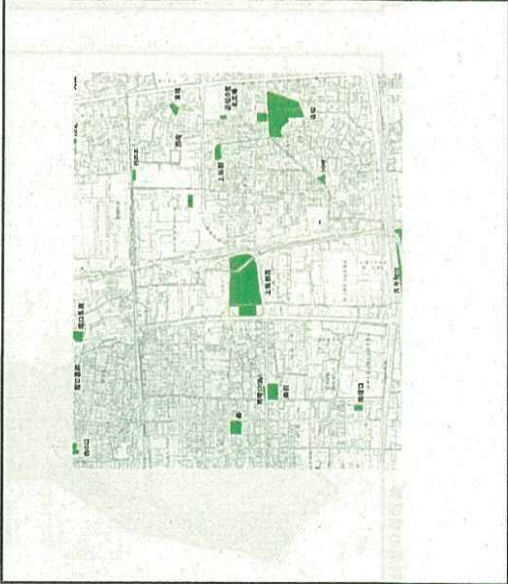
周辺状況

都市公園の充足状況	—
上位計画で定められている 事業の代替性	有(上坂部西公園の供用部分で機能が発揮できている)
都市公園機能の代替性	環境・景観 — 文化・レクリエーション — 防災 —
地区公園のため代替性の検証なし	
周辺の代替施設	

土地利用の状況等

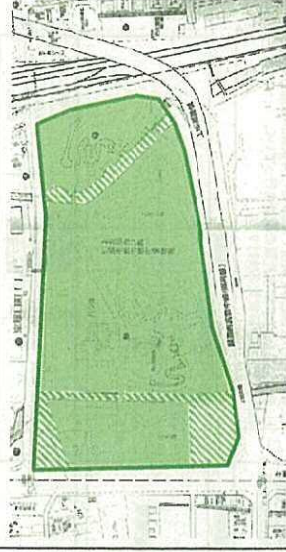


公園周辺の状況等



検証結果

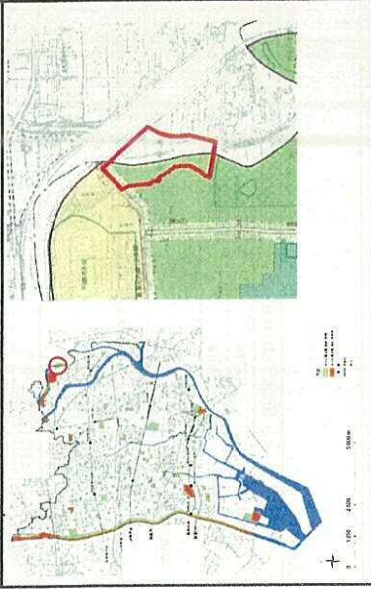
必要性	上位計画における 事業の代替性	○	上位計画に位置付けがある
代替性	都市公園 機能の代替	○	計画決定当時と変わらざる要があるが、供用部分のみで機能が十分発揮できている
実現性	都市公園 機能の代替	○	供用部分のみでその機能が十分発揮できている
地域固有の要素を 含めた総合的な検証	実現性	○	本町の都市緑化植物園でもある緑化普及啓発の拠点公園として整備を進める必要がある。景観上も重要な場所に位置している。また、民有地部分は生産緑地であり、住宅地などと比べると整備の実現性がある。河川は緑水空間や景観的要素として位置付けられる。
検証結果	検証結果	○	検証結果
特記事項	特記事項	○	特記事項
	計画面積	見直し前	33ha
		見直し後	33ha
		廃止面積	0.0ha



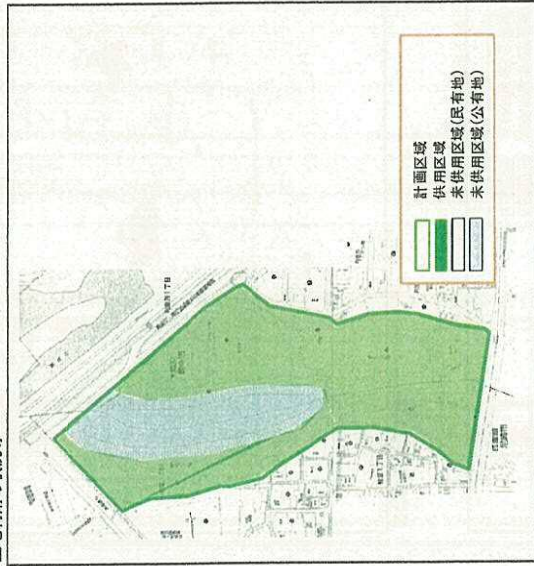
4. 4. 402号 猪名川公園

公園概要

伊勢市計画年度	当初	昭和44年5月20日	公園種別	地区
	最終	昭和60年2月5日	計画面積	7.2ha
位 置	なご市権堂1丁目他			
用途地域	第1種中高層住居専用地	土地用途管理による取得の有無	無	
上位計画における位置付け	【伊勢市の基本計画(環境政策の観点、水辺の振興、文化・レクリエーション、地域振興計画(文化振興策)等)】			



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和46年3月26日	供用状況	一部未供用
供用面積	5.3ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	1.9ha	供用率	73.6%
未供用面積の内訳	公園用地	公有地	民有地
	—	その他	—
		1.90ha	—

概算事業費

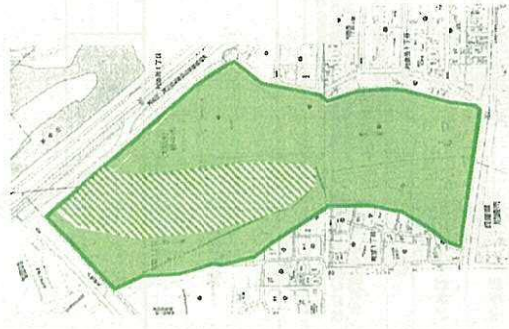
概算事業費	合計	—
民有地の土地利用	内訳	—

周辺状況

都市公園の充足状況	—	
上位計画で定められている 機能の代替性	有(猪名川公園の供用部分で機能が発揮できている)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	地区公園のための代替性の検証なし	
	防災	—

検証結果

必要性	上位計画における必要の都市公園の代替性	○	上位計画に位置付けがある	○:有 △:一部有 ×:無 —:検証不要
代替性	上位計画の機能の代替	○	供用部分のみでその機能が十分発揮できている	
実現性	都市公園の機能の代替	—		
	実現性	○	未供用区域は公有地(河川)であるが、修景施設として供用できる可能性はある	
	地域固有の要素を含めた総合的な検証	○	未供用区域の池は、現状においても修景的な要素を備えていることから、都市公園として供用できないか、今後関係機関と協議し、その結果をもとに都市計画の変更を行っていく、総合公園への種別変更を検討する。	
検証結果	存続			
特記事項				
	計画面積	見直し前	7.2ha	
		見直し後	7.2ha	
		廃止面積	0.0ha	



4. 3. 403号 塚口北公園

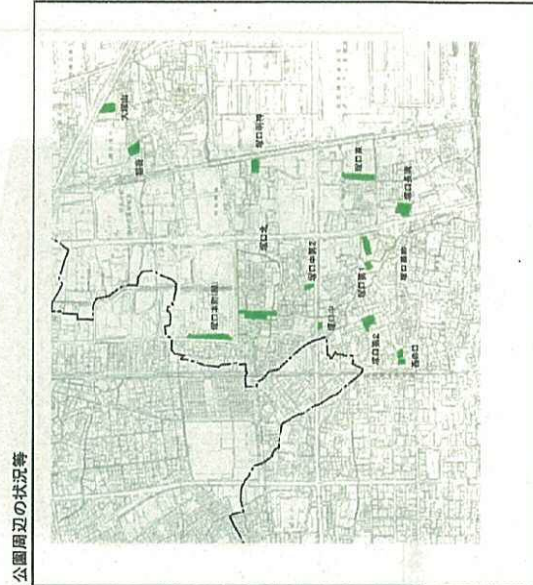
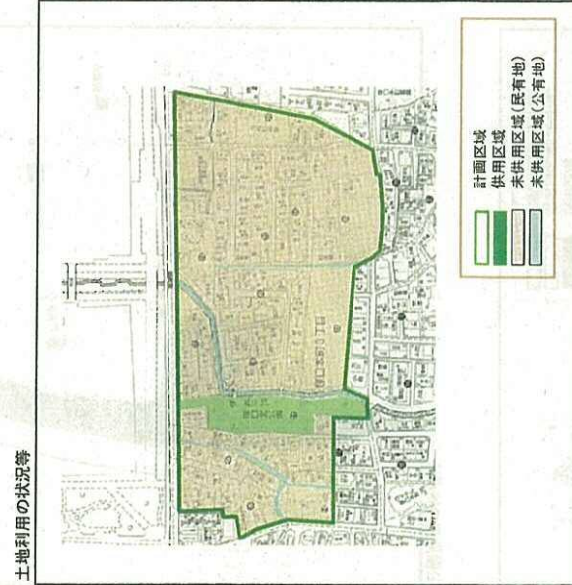
公園概要				
都市計画決定年月日	当初	昭和32年3月28日	公園種別	地区
最終	昭和60年2月5日	計画面積	最終	3.1ha
位置	尼崎市塚口本町3丁目			
用途地域	第1種中密度住宅利用 工業			
上位計画における位置付け	無			
土地収用率	無			



供用状況				
供用年月日	昭和48年3月31日	供用状況	一部未供用	
供用面積	0.2ha	標準面積との比較	標準面積以下	
未供用面積	2.9ha	供用率	6.5%	
未供用面積の内訳	公園用地	—	その他	民有地
	—	0.10ha	2.80ha	

概算事業費	
合計	3,208,029千円
概算事業費	内訳 用地買収費5,656,000千円、移転補償費2,412,29千円、工事費657,000千円
民有地の土地利用	施設費(104千円)、生命住宅(104千円)、施設・設備費(104千円)、施設・設備費(104千円)、施設・設備費(104千円)

周辺状況				
都市公園の充足状況	—			—
上位計画で求められている 機能の代替性	—			
都市公園機能の代替性	環境・景観	—	文化・レクリエーション	防災
周辺の代替施設	地区公園のため代替性の検証なし			



検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

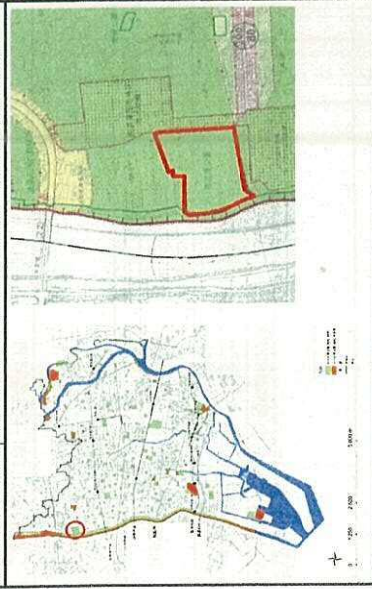
必要性	X	上位計画に位置付けがない
必要性 都市公園としての 必要性	X	計画決定当時と比べ地区公園として必要性がなくなった
代替性	-	-
代替性 上位計画の 代替性の代替 可能性の代替	-	-
実現性	X	未供用区域は民有地及び道路及び水路であり、整備が見込めない
地域固有の要素を含めた総合的な検証	X	大塚公園は、上城公園(街区公園)としては、供用区域のみで標準面積以上である。
検証結果		面積縮小(未供用の一部)
特記事項		



4. 4. 404号 西武庫公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和35年3月7日	公園種別	地区
	最終	昭和60年2月5日	計画面積	7.2ha
位置	尼崎市武庫元町3丁目			
用途地域	第1種中高層住居専用	土地用途管理による取組の有無	無	



供用状況

供用年月日	昭和38年11月	供用状況	一部未供用
供用面積	7.1ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.1ha	供用率	98.6%
未供用面積の内訳	公園用地	公有地	民有地
	—	その他	—
		0.10ha	—

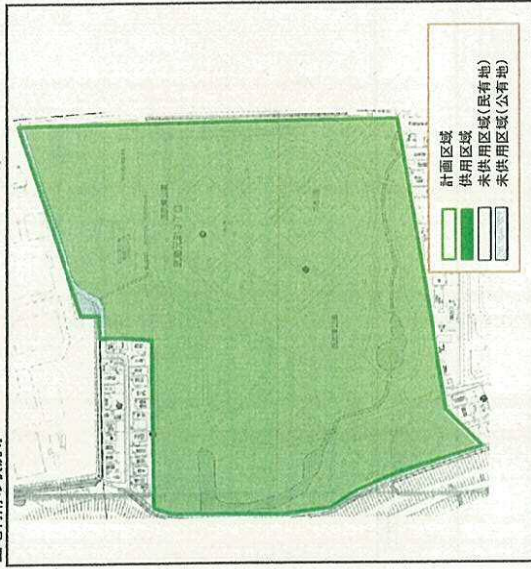
概算事業費

合計	23,000千円
概算事業費	内訳
工事費	23,000千円
民有地の土地利用	—

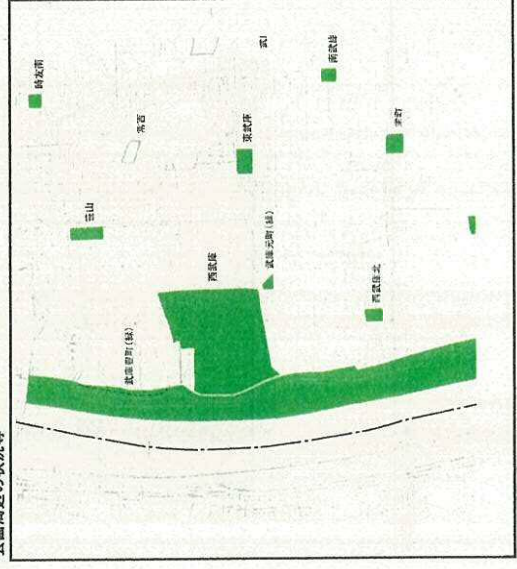
周辺状況

都市公園の充足状況	—	—	—
上位計画で定められている 機能の代替性	有（西武池袋公園の供用部分が機能が発揮できている）	—	—
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション	防災
周辺の代替施設	地区公園のため代替性の検証なし		

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果

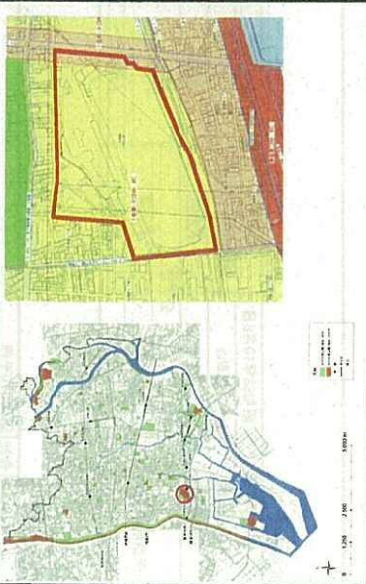
必要性	上位計画に位置付けがある	〇：有 △：一部有 ×：無 -：検証不要
上位計画における必要事項の検証	×	計画決定後に変更する必要があるが、供用部分のみで公園の機能が十分発揮できている
代替性	〇	供用部分のみでその機能が十分発揮できている
環境の代替	—	都市公園
防災性	×	未供用区域は実証的な道路であり、整備が見込まれない
地域固有の要素を含めた総合的な検証	〇	現在の供用部分で地区公園としての機能が発揮できている。未供用部分は兵庫県公園緑地法の所有地であるため、今後の管理について調整しながら、計画区域の縮小を前提に、都市計画の変更を行っていく。
検証結果	存続	
特記事項		
	計画面積	見直し前 7.2ha 見直し後 7.2ha 廃止面積 0.0ha



既定区域（供用区域）
既定区域（未供用区域）
廃止（候補）区域

5. 5. 401号 水明公園

公園概要				
都市計画決定年月日	当初	昭和32年3月28日	公園種別	総合
最終	昭和60年2月5日	計画面積	最終	14.3ha
位置	尼崎市水明町			
用途地域	第1種住居 用途地域			
土地収用率	土地収用率による取得の有無			
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(沿線の軸)、地域防災計画(大火災避難場所)】			
備註	無			



供用状況				
供用年月日	昭和51年11月22日	供用状況	一部未供用	
供用面積	1.9ha	標準面積との比較	—	
未供用面積	12.4ha	供用率	13.3%	
未供用面積の内訳	公有地		民有地	
	公園用地	その他		
	—	12.4ha	—	

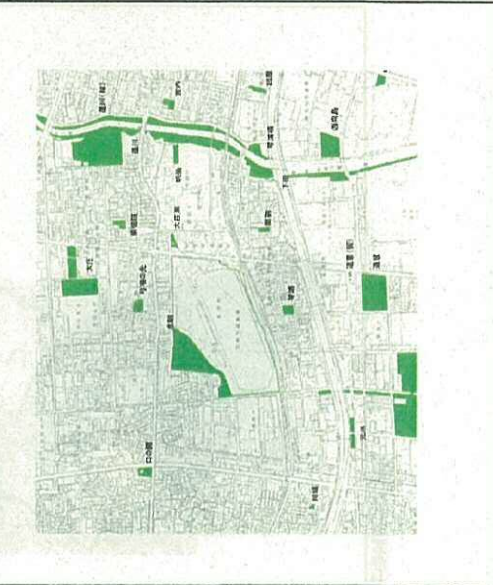
概算事業費	
概算事業費	合計 2852,000千円
内訳	工事費 2,852,000千円
民有地の土地利用	—

周辺状況				
都市公園の充足状況	—	—	—	
上位計画で求められている都市公園機能の代替性	無	—	—	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション	—	防災
周辺の代替施設	都市基幹公園のため代替性の検証なし			

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果

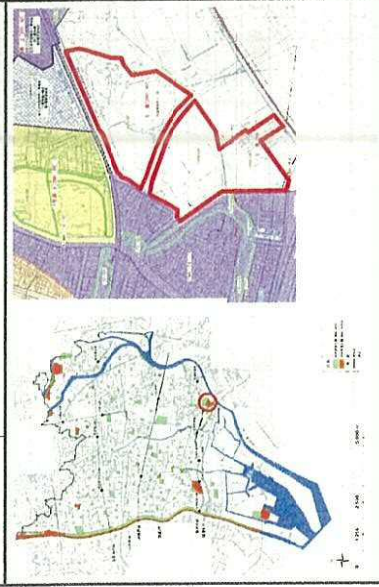
検証結果	
必要性	上位計画における都市公園としての必要性 ○ 計画決定当初と変わらざるも必要性あり(供用部分のみで公園の機能が十分発揮できていない)
代替性	上位計画の代替可能性 × 都市公園の機能の代替可能性 —
実現性	未供用区域はほぼ全域市有地(明証)であり、整備が見込める ○ 南西地域の社会公園として必要である。 ○ 計画決定当初と変わらざるも必要性あり(供用部分のみで公園の機能が十分発揮できていない)
地域固有の要素を含めた総合的な検証	○ 今後、緑地の供給計画と調整しながら、計画区域の縮小を前提に、都市計画の変更を行っていく。
検証結果	存続
特記事項	
計画面積	見直し前 14.3ha 見直し後 14.3ha 廃止面積 0.0ha



5. 5. 403号 小田南公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和54年12月21日	公園種別	総合
最終	昭和58年1月25日	計画面積	最終	12 ha
位置	尼崎市机瀬南新町3丁目	工業	土地用途整理による取得の有無	無
用途地域	工業			



供用状況

供用年月日	昭和58年10月8日	供用状況	一部未供用
供用面積	5.6ha	標準面積との比較	—
未供用面積	6.5ha	供用率	46.3%
未供用面積の内訳	公園用地 1.80ha	公有地 3.00ha	民有地 1.70ha

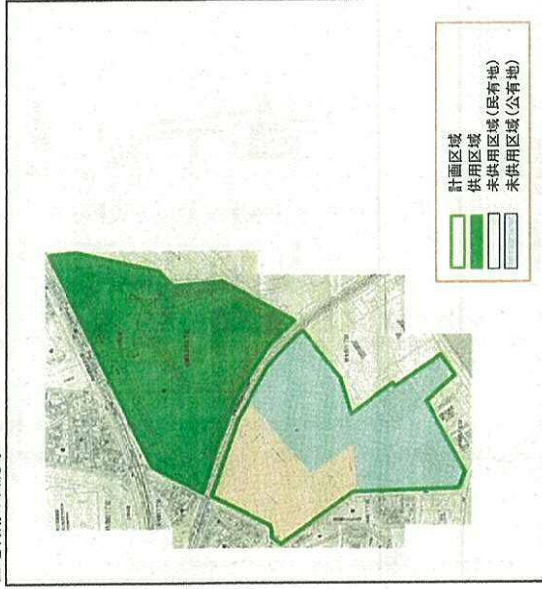
概算事業費

概算事業費	合計 5,183,170千円
内訳	用地買収費2,515,000千円、移転補償費1,172,170千円、工事費1,495,000千円
民有地の土地利用	工業専用施設、保管施設(3軒)

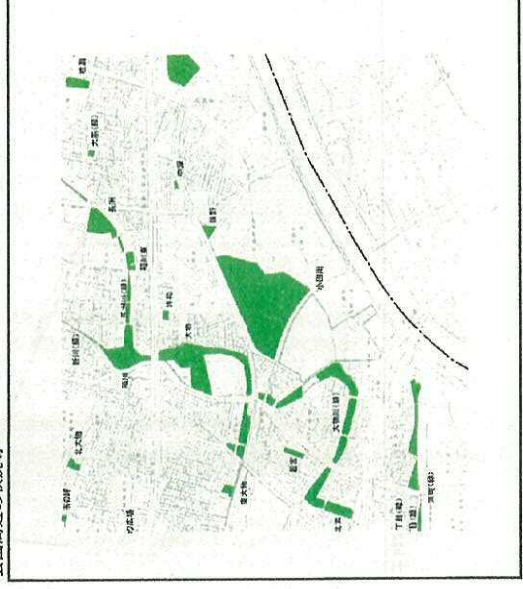
周辺状況

都市公園の充足状況	—	—
上位計画で定められている用途の代替性	無	—
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	都市基幹公園のため代替性の検証なし	防災

土地利用の状況等

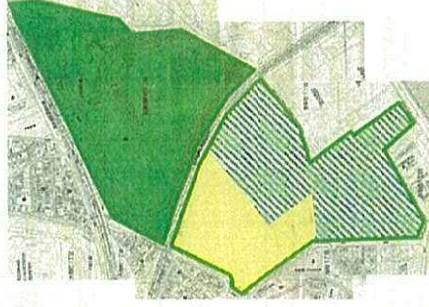


公園周辺の状況等



検証結果

検証結果	上位計画における都市公園の必要性	上位計画に位置付けがある	〇:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
必要性	〇	〇	〇
代替性	×	×	×
実現性	△	△	△
地域固有の要素を含めた総合的な検証	〇	〇	〇
検証結果	面積縮小(未供用の一部)		
特記事項			
計画面積	見直し前	12.1ha	
	見直し後	10.4ha	
	廃止面積	1.7ha	



6. 5. 402号 蒸川公園

公園概要				
都市計画決定年月日	当初	昭和32年3月28日	公園種別	運動
位 置	最終	昭和60年2月5日	計画面積	最終
27.2ha	尼崎市田能2丁目他			
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
上位計画における位置付け	土地収用地区による取得の有無			無
	第1種住居			
	第1種中高層住居専用地域			
	その他(基本計画(公園緑地の利用)、地域計画(大規模開発(商業公園、園田競馬場)))			

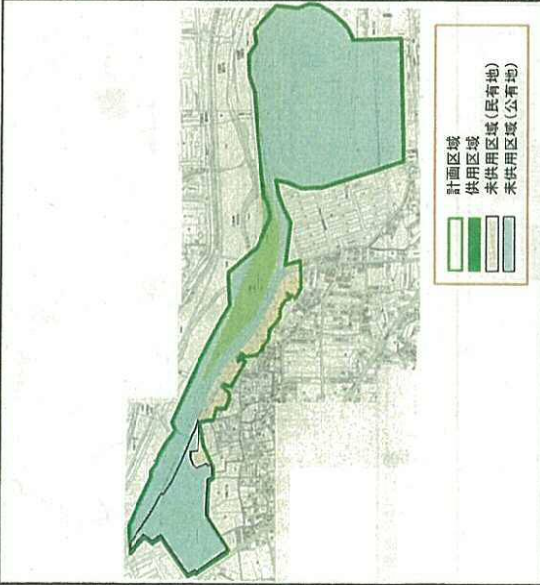


供用状況			
供用年月日	供用状況	標準面積との比較	全球未供用
供用面積	0.0ha		—
未供用面積	27.2ha	供用率	0.0%
未供用面積の内訳	公園用地	公有地	民有地
	—	25.5ha	1.70ha

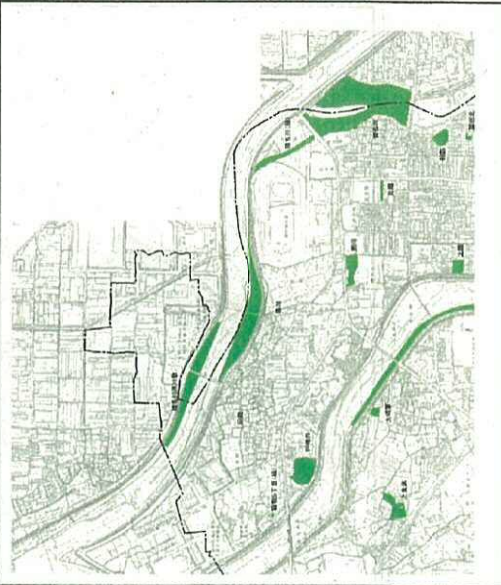
概算事業費	
合計	23,271,697千円
内訳	用地収買費22,010,000千円、移転補償費1,005,697千円、工事費525,000千円
民有地の土地利用	独立住宅(36軒)、集合住宅(11軒)、商業・業務兼用住宅(2軒)

周辺状況	
都市公園の充足状況	—
上位計画で定められている都市公園機能の代替性	有(農業公園、猪名川河川敷公園、生産緑地、園田競馬場)
都市公園機能の代替性	環境・景観 — 文化・レクリエーション — 防災 —
周辺の代替施設	都市基幹公園のため代替性の検証なし

土地利用の状況等

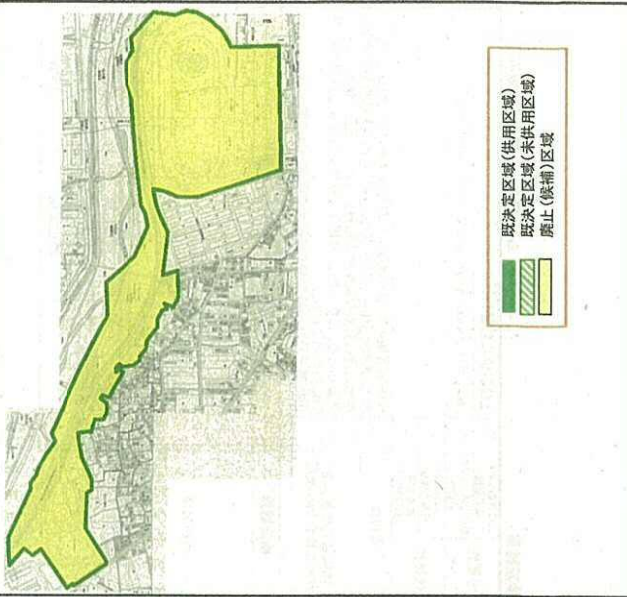


公園周辺の状況等



検証結果

上位計画における都市公園としての必要性	
必要性	○: 有 △: 一部有 ×: 無 —: 検証不要
代替性	○: 有 △: 一部有 ×: 無 —: 検証不要
実現性	○: 有 △: 一部有 ×: 無 —: 検証不要
検証結果	—
特記事項	—



7. 3. 401号 佐賀丘公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和32年3月28日	公園種別	風致
最終	昭和60年2月5日	計画面積	最終	3.4ha
位置	佐賀市若菜町1丁目			
用途地域	第一種住居	土地用途制限による取得の有無		無



供用状況

供用年月日	昭和27年8月20日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.1ha	標準面積との比較	—
未供用面積	3.3ha	供用率	4.1%
未供用面積の内訳	公園用地	1.14ha	0.76ha
	民有地	—	1.36ha

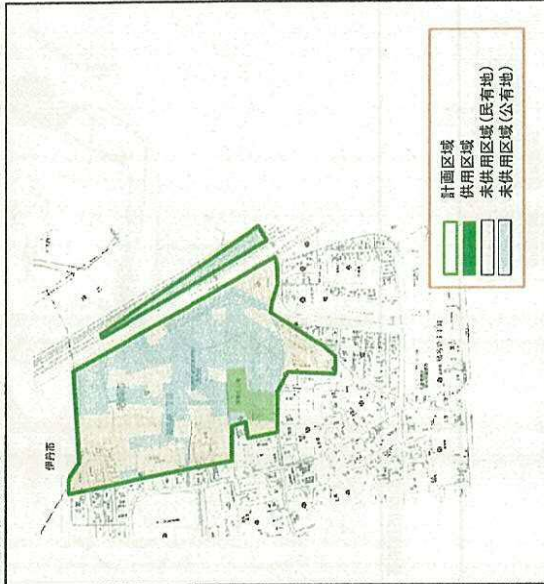
概算事業費

概算事業費	合計 3,222,023千円
民有地の土地利用	内訳 用地買収費2,653,600千円、移転補償費418,623千円、工事費748,800千円
民有地の土地利用	独立住宅(26軒)、集合住宅(9軒)、駐車場(6軒)、宗教施設

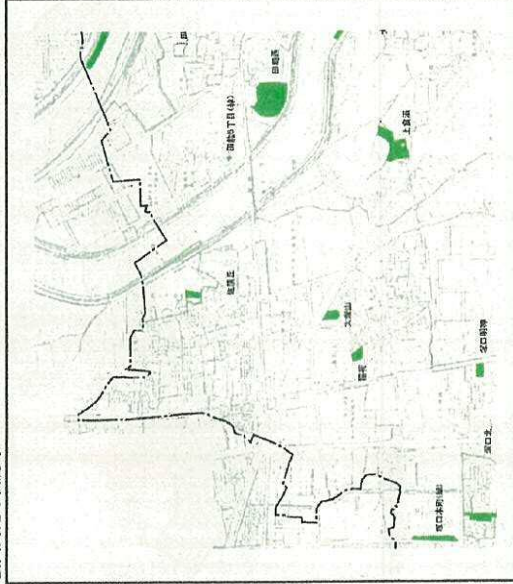
周辺状況

都市公園の充足状況	—	—
上位計画で定められている用途の代替性	無	—
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	特殊公園のため代替性の検証なし	防災

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果

検証結果	上位計画における都市公園としての必要性	上位計画に位置付けがある	〇:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
必要性	〇	〇	〇
代替性	〇	〇	〇
実現性	〇	〇	〇
地域固有の要素を含めた総合的な検証	〇	〇	〇
検証結果	面積減少(未供用の一部)		
特記事項			
計画面積	見直し前	3.40ha	
	見直し後	2.9ha	
	廃止面積	0.5ha	



大物川緑地

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和54年12月21日	公園種別	緑道
最終	昭和59年1月25日	計画面積	最終	3.1ha
位置	尼崎市東大物川1丁目他			
用途地域	準工業	土地収用区画による取得の有無		有(防災復興)
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(沿線の軸)】			



供用状況

供用年月日	昭和58年10月8日	供用状況	一部未供用
供用面積	2.4ha	標準面積との比較	—
未供用面積	0.7ha	供用率	77.4%
未供用面積の内訳	公有地		民有地
未供用面積の内訳の内訳(0.7ha)	公園用地	その他	
大物川緑地としての利用面積	0.02ha	0.26ha	0.03ha

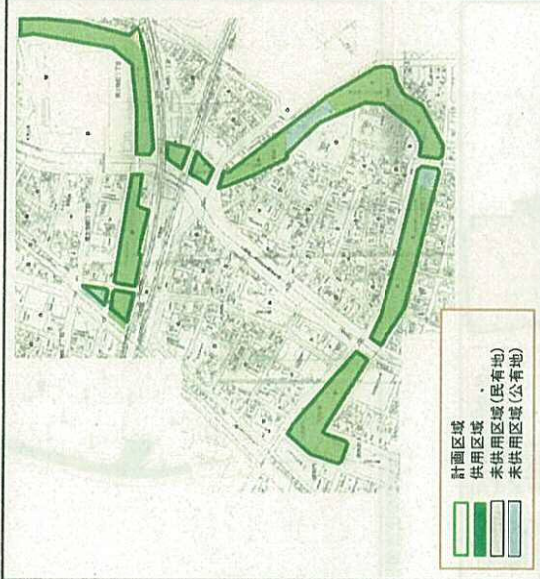
概算事業費

概算事業費	合計 497,266千円
内訳	用地買収費48,300千円、移転補償費195,966千円、工事費253,000千円
民有地の土地利用	業務施設(2軒)、商業・業務兼用住宅

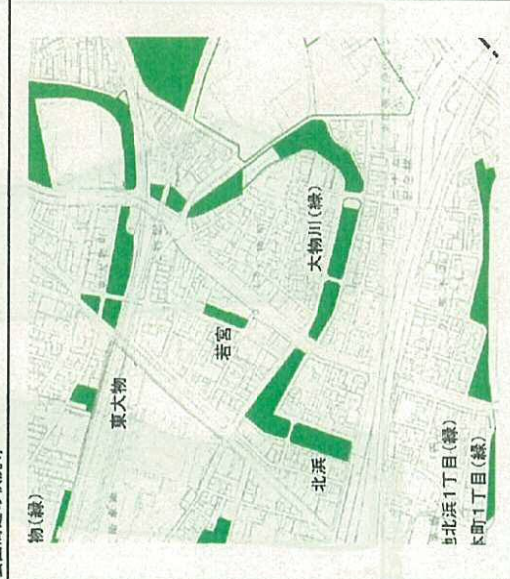
周辺状況

都市公園の充足状況	—	—
上位計画で求められている都市公園機能の代替性	有(大物川緑地の供用部分で機能が発揮できている)	—
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
都市公園機能の代替性	防災	防災
周辺の代替施設	都市緑地のため代替性の検証なし	

土地利用の状況等

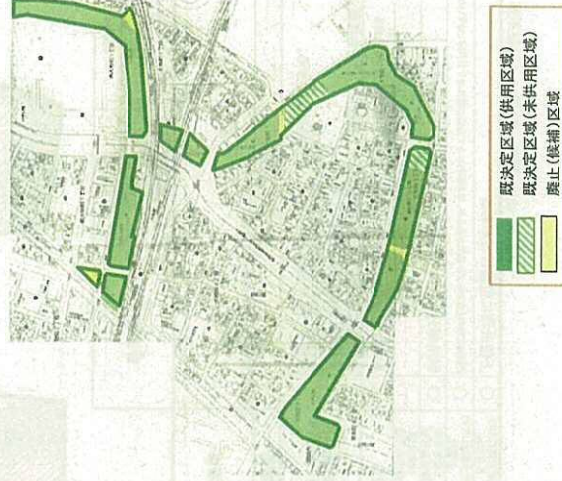


公園周辺の状況等



検証結果

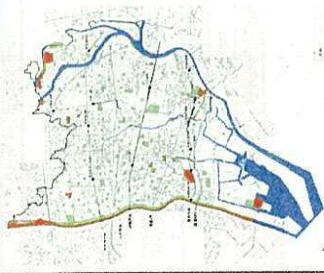
必要性	上位計画における都市公園としての必要性	○	上位計画に位置付けがある
代替性	上位計画の機能の代替	○	計画決定資料と変わらざる必要性があるが、供用部分のみで公園の機能が十分発揮できている
実現性	都市公園機能の代替	—	—
実現性	都市公園機能の代替	△	未供用区域は私有地及び公有地(普通財産(供用部分)であり、供用部分部分は整備が必要である
地域団体の要望を含めた総合的な検証	—	○	避難路としての緑地の連続性を担保する必要がある。整備の実現性の低い私有地及び道路部分は廃止する。
検証結果	面積縮小(未供用の一部)		
特記事項	未供用区域の公園用地は、平成27年度まで供用しており、交番として利用されていたが、交番の建替えに伴い廃止し、代替地として、一体的な緑地となるよう当該用地周辺の用地を供用することとした。廃止区域を廃止しても緑地の連続性は保たれる。		
	計画面積	見直し前	3.1ha
		見直し後	3.0ha
		廃止面積	0.1ha



武庫川河川敷緑地

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和56年6月9日	公園種別	都市緑地
	最終	平成2年10月10日	計画面積	最終 136.4ha
位置	尼崎市平左衛門町他			
用途地域	土地区画整理による取得の有無 無			
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(水辺の緑など)、地域防災計画(大火災避難場所)			



供用状況

供用年月日	昭和60年3月31日	供用状況	一部未供用
供用面積	45.0ha	標準面積との比較	—
未供用面積	91.4ha	供用率	33.0%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地		
	—	91.22ha	0.18ha

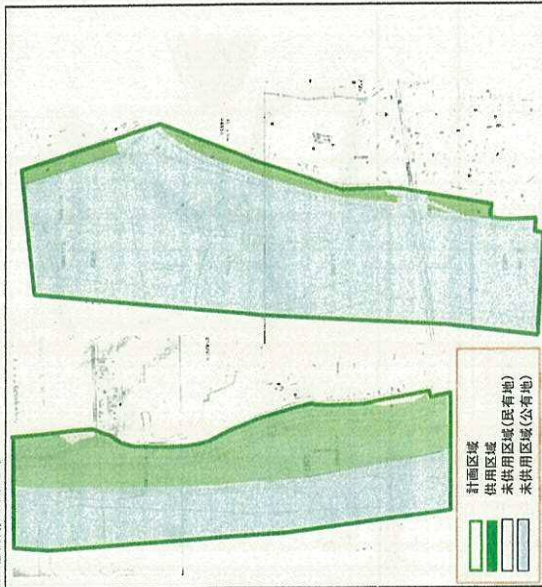
概算事業費

概算事業費	合計 1,893,615千円
内訳	用地買収費261,000千円、移転補償費160,615千円、工事費1,472,000千円
民有地の土地利用	独立住宅(7軒)、集合住宅、倉庫

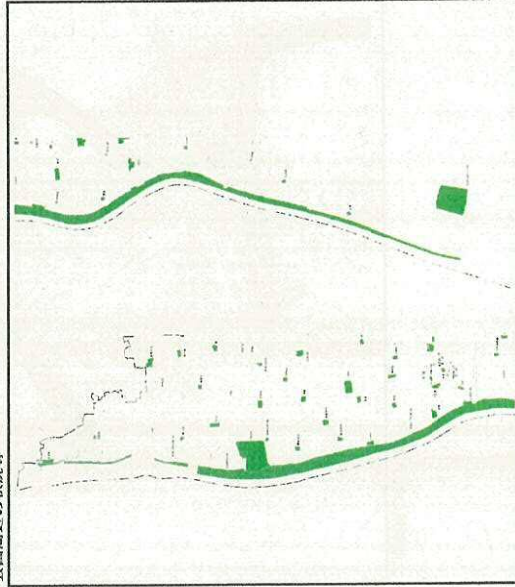
周辺状況

都市公園の充足状況	—
上位計画で定められている機能の代替性	有(武庫川河川敷緑地の供用部分で機能が発揮できている)
都市公園機能の代替性	環境・景観 — 文化・レクリエーション — 防災 —
周辺の代替施設	都市緑地のため代替性の検証なし

土地利用の状況等

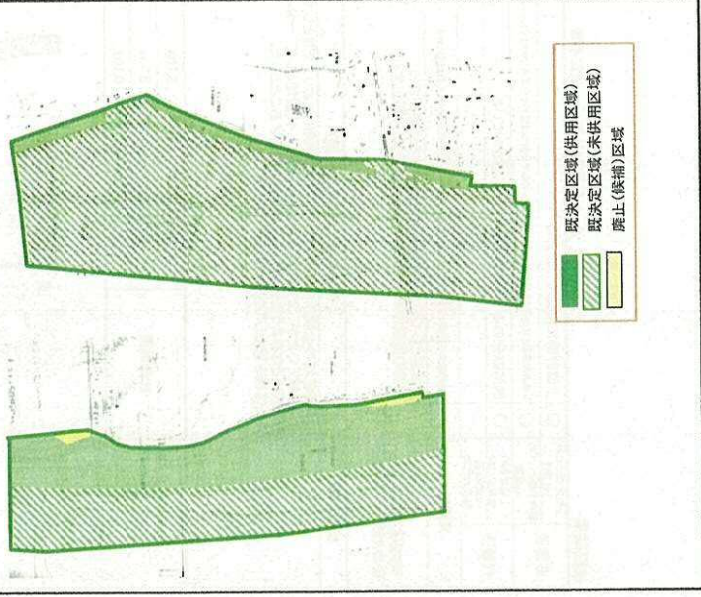


公園周辺の状況等



検証結果

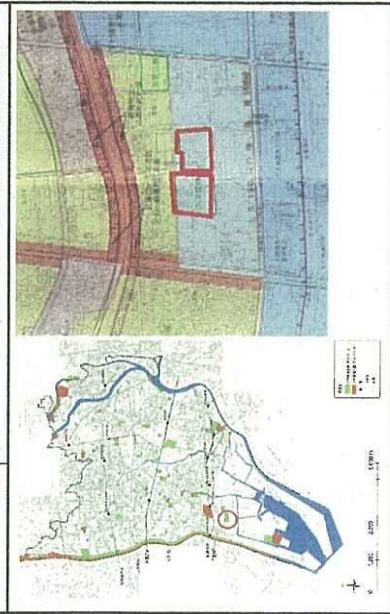
必要性	○	上位計画に位置付けがある	○	有 △:一部有 ×:無 —:検証不要
代替性	○	計画決定当時と変わらざるを要する性能があるが、供用部分のみで公園の機能が十分発揮できている	○	
実証性	△	未供用区域は農用地及び河川区域であり、一部荒れ地部分の整備は見込める	△	
地域固有の要素を含めた総合的な検証	○	未供用区域の水面(治水路部分)は、現状においても修景的な要素(自然的環境)を備えている。緑地の連続性を担保する必要がある。水面及び高水敷部分を存続し、農用地は廃止する。	○	
検証結果	一部廃止候補			
特記事項	廃止区域を廃止しても緑地の連続性は保たれる。			
計画面積	見直し前		136.4ha	
	見直し後		136.2ha	
	廃止面積		0.2ha	



元浜緑地

公園概要

都市計画決定年月日	当初	昭和63年10月21日	公園種別	都市緑地
	最終	平成7年8月7日	計画面積	最終
位置	尼崎市元浜町1丁目			3.8ha
用途地域	工業		土地用途制限による取得の有無	無



供用状況

供用年月日	平成7年7月15日	供用状況	一部未供用
供用面積	3.7ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.1ha	供用率	97.4%
未供用面積の内訳	公園用地	公有地	民有地
	—	—	0.10ha

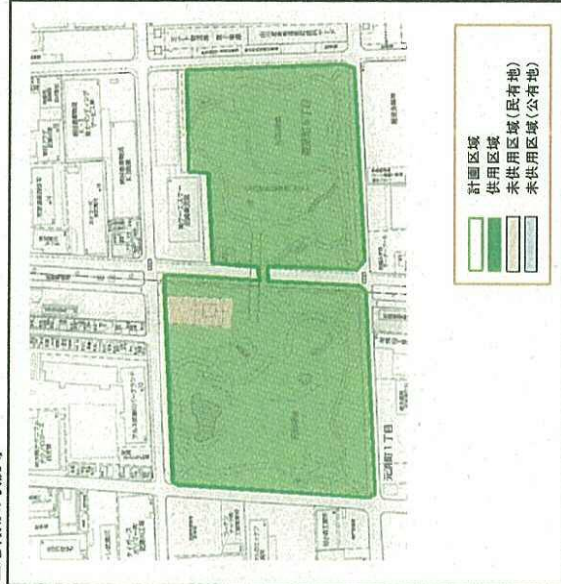
概算事業費

概算事業費	合計	146,000千円
	内訳	用地買収費123,000千円、工事費23,000千円
民有地の土地利用	競塔	

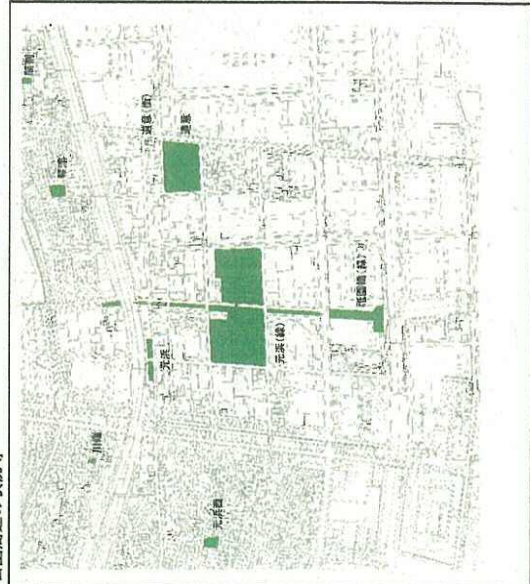
周辺状況

都市公園の充足状況	—	—
上位計画で求められている緑地の公益性	有（元浜緑地の供用部分で機能が発揮できている）	—
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	都市緑地のため代替性の検証なし	防災

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果

必要性	上位計画に位置付けがある	〇：有 △：一部有 ×：無 —：検証不要
代替性	都市公園としての代替性 上位計画の代替 都市公園 緑地の代替	〇 計画決定後に変更する必要があるが、利用部分のみで公園の機能が十分発揮できている 〇 供用部分のみでその機能が十分発揮できている
実現性	—	△ 未供用区域は全市民有地であるが、関西電力の買収数であり、電力需要の削減等により整備できる可能性がある
地域面での意義を含めた総合的な検証	〇 地域面での意義を含め、尼崎21世紀の構想の区域内に位置しており、本市臨海部の最前線のため、極めて重要な緑地であることから、整備を進める必要がある。	〇
検証結果	存続	
特記事項		
計画面積	見直し前	3.8ha
	見直し後	3.8ha
	廃止面積	0.0ha

